



平成27年1月28日

荒尾市長 山下 慶一郎 様

荒尾市民病院あり方検討会

会長 小野 友道



荒尾市民病院新病院建設基本計画（案）について（答申）

平成25年10月1日付け荒政策第385号をもって本検討会に諮問のあった「荒尾市民病院新病院建設基本計画（案）」について慎重審議の結果、成案を得ましたのでここに答申します。

新病院建設基本計画（案）は、地域の命と暮らしを守る拠点である新病院の将来像を具現化するための第一歩です。

これからの本計画の推進に当たっては、下記の事項に留意され、その実現に努められるよう切に希望します。

記

1. 新病院建設事業は、新病院を核に、周辺に多様な都市機能を集積した『市民の憩える拠点』をつくることが基本構想から続く基調である。昨年末に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても、地方移住の推進策として、健康状態に応じた継続的なケア環境の下で、自立した社会生活を送ることができるような地域共同体（日本版 CCRC）の導入について言及されている。同事業が全国に先駆けて、次世代の目指すべき都市モデルとなるよう、その達成に向けて大きく足を踏み出していきたい。
2. 新病院の建設は医師をはじめとした荒尾市民病院の悲願であることは疑いようも無いが、耐震強化といった喫緊の課題に対応し、さらには、医師をはじめ、病院の質を担う重要な経営資源である「人材」を確保することで、良質な医療という利益を享受するのは、ほかでもない市民である。決して歩みを止めることのないよう努められたい。
3. 本検討会における各委員の意見をはじめ、今回の計画策定に際し提起された多くの意見や要望等については、実施段階において十分考慮するよう努められたい。

【添付資料】

1. 荒尾市民病院 新病院建設基本計画（案） （1部）
2. 荒尾市民病院 新病院建設基本構想（案）資料編 （1部）